

令和4年7月22日（令和4(2022)年度第10号）



全国保育士会委員ニュース

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<https://www.z-hoikushikai.com>

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

<ニュースの内容>

- 「#すかんぽムービー」を公開しました！
- 第55回全国保育士会研究大会(奈良大会)「特別分科会」発表者募集のご案内
- 「幼保連携型認定こども園で勤務する保育教諭に係る保育士資格取得の特例」にかかるパブリックコメントが開始

■「#すかんぽムービー」を公開しました！

全国保育士会では、保育者の魅力を発信することを令和4年度の重点事業として据えており、事業の一環として、#すかんぽムービー「保育の魅力って？ 全国の保育士さんに聞きました。」を作成し、公開しました。

動画では、全国各地の保育者に「保育の魅力って？」という質問を投げかけ、保育の現場で感じる保育の魅力ややりがいについてお答えいただきました。保育者の熱い想いや、保育の楽しさを知ることができる動画となっています。

心温まる動画となっておりますので、ぜひご視聴いただくとともに、各都道府県・指定都市においてご周知をお願いいたします。

#すかんぽムービーでは今後、保育の現場でのいろんな遊びや保育者の専門性、地域での実践等、幅広いテーマについて、発信していく予定です。

《全国保育士会 重点事業「保育の魅力発信」》

本事業は、長期化するコロナ禍において、保育の魅力ややりがいを広く社会に発信し、保育士・保育教諭の仕事について正しく理解できるような情報を発信するとともに、保育者自身があらためて保育という仕事の社会的意義と役割、やりがいを認識し、向上心を高めることで質の向上につなげることを目的としています。

【全国保育士会 HP】 <https://www.z-hoikushikai.com/index.php>

《全国保育士会 HP TOP 画面》※TOP 画面から再生いただけます。

ここを
クリック!!



■ 第55回全国保育士会研究大会(奈良大会)「特別分科会」発表者募集のご案内

第55回全国保育士会研究大会では、会員自らが主体的に発表をする「特別分科会」を設けています。「特別分科会」は、自らの実践の発表に対し全国の仲間と意見交換を行うことで、保育の質の向上を図る場として位置づけています。

第55回全国保育士会研究大会(奈良大会)の特別分科会募集要項および発表申込書は、別添のとおりです。日々取り組まれている実践、先駆的な実践、研究的な実践など、幅広い実践の発表をお待ちしています。PDFを全国保育士会ホームページにも掲載していますので、各都道府県・指定都市組織の会員への周知および、申込勧奨にご協力をお願いいたします。

【発表日】令和4年11月24日(木)

【会場】WEB開催

【締切日】令和4年8月5日(金)

※各都道府県・指定都市組織から本会への申込書送付の締切。

※発表の可否は、「大会運営委員会」における審査の上、令和4年8月下旬頃にご連絡いたします。

【申込方法】「発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、各都道府県・指定都市保育士会宛に、メールまたは郵送等で送付してください。

※「特別分科会」への申込は、各都道府県・指定都市保育士会事務局を介して、全国保育士会へお申込みいただく方法をとっております。

【前回（第54回）大会の発表テーマ】

- ・「幼保連携型認定こども園におけるカリキュラム・マネジメントの研究」
- ・「保育の喜びを共有するために～連絡帳を手がかりとした保育の視点の拡がり～」
- ・「『保育士中心の保育』からの脱皮の瞬間～子どもの姿に仮説を立てたら、職員と子どもと保護者が変わった～」
- ・「SDGs(Sustainable Development Goals)の取り組み～子ども・職員・地域とのつながりを求めて～」

詳細は、全国保育士会ホームページをご確認ください。

- 第55回全国保育士会研究大会「特別分科会」発表募集要項および発表申込書

<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/kensyukai.php?id=102>

- 「第55回全国保育士会研究大会」開催要項および参加申し込み

<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/kensyukai.php?id=101>

■「幼保連携型認定こども園で勤務する保育教諭に係る保育士資格取得の特例」にかかるパブリックコメントが開始

本ニュース No.6 にて既報のとおり、「保育士養成課程検討会」（北野久美副会長が参画）における論点整理を踏まえ、幼保連携型認定こども園で勤務する保育教諭の保育士資格取得の特例に関して、通知の改正が行われる予定です。

この度、通知の改正案（「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（局長通知）の一部改正（案））に対するパブリックコメントが開始されましたのでお知らせいたします。（意見募集期間：令和4年7月15日（金）～令和4年8月13日（土））

なお、改正案の主な内容は以下のとおりです。

※全国保育士会事務局整理

- 幼保連携型認定こども園で勤務する幼稚園教諭免許状所持者の保育士資格の取得促進に関し、更なる特例を設ける。（令和5年度より適用）
- 更なる特例では、現行特例の勤務経験の要件（3年かつ4,320時間）に加え、幼保連携型認定こども園における保育教諭としての勤務経験を2年かつ2,880時間以上有する職員については、取得すべき8単位のうち更に2単位を取得したものとみなす。（修得すべき単位を2単位減ずる）
- 取得したものとみなす2単位の対象案は以下のとおり。

科目名	現行特例の単位数	新規特例における単位数
福祉と養護（講義）	2 単位	2 単位
<u>子ども家庭支援論（講義）</u>	2 単位	<u>1 単位</u>
保健と食と栄養（講義）	2 単位	2 単位
<u>乳児保育（演習）</u>	2 単位	<u>1 単位</u>
合計単位数	8 単位	6 単位

- 2年かつ2,880時間以上の実務経験を評価する特例であることから、乳児保育や子育て支援に関する実践と授業内容を結びつけることが適当であること。（例：授業開始前に、幼保連携型認定こども園における2年間の実務経験を中心として、各受講者がこれまで経験した内容を把握して、実践を活かした授業を展開する等）

なお、保育士養成課程検討会における上記改正案の検討に関し、北野副会長から「要件となっている勤務経験の時間だけでは、乳児保育について十分な経験を得られていない可能性があり、乳児保育の単位を減ずることには懸念がある」、「保育所保育指針の理解を深める講座上の工夫が必要」等の意見を述べています。

改正案の内容やこれに対する意見提出については、下記をご参照ください。

- 「パブリックコメント」トップ > 案件一覧 > 「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（局長通知）の一部改正（案）に関する御意見の募集について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495220098&Mode=0>